

ナンバリング	A②01	科目名	教養基礎演習(初年次教育)
担当形態	オムニバス	担当教員	明石 現・由田 新
ディプロマポリシーとの関連性	①, ②, ③		
テキスト	適宜配布		
開講時期	前期	単位数・ 授業形態	1単位・演習
到達目標	<p>本授業では、まず初めに、共に学び合う仲間と自身が学ぶ学校、周辺地域を探索しながら関係性を構築することで、グループ学習の土台作りを行なう。</p> <p>その上で、子どもや身の周りの社会的事象について興味・関心を深め、話し合い、それらについての基礎的な事柄を説明できるようにする。</p> <p>また、学園祭の準備・運営の中で仲間との連携を通して、保育者に求められる協働性や主体性や他者(来場者)の立場に立った企画を考える力を身につける。さらに活動を振り返り、準備・連携・安全配慮の重要性を理解できるようになることを目標とする。</p>		
授業の概要	<p>本学では2年間を通して、専門科目および教養科目の中で様々なことを学ぶ。本授業では初年次教育として、そうした学びの基礎作りを行い、「自ら学ぼうという姿勢」と共に「他者に目を向けながら学ぶ姿勢」を身に付ける。具体的には、主体的なテーマ設定を伴うグループワークやゲストスピーカーを招き講演会を実施するなど、社会の多様性に触れる体験を通して、身の周りの事象を俯瞰できるよう学習を進める。</p> <p>さらに本授業では学園祭の準備・運営を授業内活動として位置づけ、企画立案、役割分担、制作、広報、運営、振り返りまでを実践的に体験する。その体験の中で学生はグループで協働しながら、来場者の視点を意識した企画を考え、限られた時間や条件の中で実現に向けて取り組む。</p>		
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション 学校周辺を探索し、知る</p> <p>第2回 オリエンテーション 学校周辺を探索し、知る</p> <p>第3回 理事長講演「センス・オブ・ワンダー」</p> <p>第4回 「子どもを取り巻く社会の事象」</p> <p>第5回 学園祭①</p> <p>第6回 講演会・事前学習</p> <p>第7回 ゲストスピーカーによる講演会</p> <p>第8回 学園祭②</p> <p>第9回 講演会・事後学習</p>		

	第 10 回 学園祭③ 第 11 回 学園祭④ 第 12 回 学園祭⑤				
準備学習と必要時間	・毎回 60 分の予習と復習時間をとること。 ・毎回、自身で学習の内容を整理して、次回に繋げること。				
評価方法	・授業への取り組み(授業への積極的な取り組み・発言) — 60% ・レポート — 40%				
参考文献	特になし				
特記事項	授業時間は各回の内容に合わせて設定する。オリエンテーションにて説明するので気をつけること。				
課題へのフィードバック方法	レポートには授業内でコメントをする。				
卒業・免許状・資格との関連	卒業	必修	幼稚園教諭免許状		
	その他		保育士資格		
教員の実務経験					